

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

■ 1 2月の自立支援協議会報告

療育部会スキルアップ研修 1日(土)

- ・茅野高校学校長 志津先生の講演。テーマ「高等学校における発達障がいを抱える生徒への支援の現状」

相談支援部会 4日(火)

- ・地域生活支援拠点事業について協議。
- ・山梨県峡北地域協議会相談支援部会の方との意見交換。

就労支援部会 11日(火)

- ・テーマ「報酬改定」で活動発表。

フォーラム実行委員会 13日(木)

- ・振り返りと次年度フォーラムについて。

相談支援部会 地域相談 WG 25日(火)

- ・地域移行支援 Co 活動報告と地域相談の課題について。
- ・ピアサポートの活動や背景についての共有を行った。

■ 研修会・研究会・イベント 21 情報 (詳しい内容は各団体、またはオアシスまで)

♣ 諏訪圏域障がい福祉自立支援協議会 平成 30 年度 新任職員研修

諏訪圏域の障がい福祉関係事業所等で働く新任職員に対し、圏域の福祉資源や自らが所属する事業所の地域での役割を学ぶ場を提供することで、この圏域で暮らす障がいをもたれた方の生活を支援するネットワークを構築するための意識を高める。また、新任職員の不安感・孤立感を除去し、情報交換・共有がしやすい職員間のつながりをつくる。

2月15日(金) 9:30 ~ 16:30 (受付9:00~)

場 所：諏訪市総合福祉センターいきいき元気館 3階 交流ひろば(諏訪市小和田 19-3)

内 容：企画 1 アイスブレイク

企画 2 講義形式：サービス事業種・支援を行うためのキーワード

企画 3 グループワーク・講義・演習形式：分散会

分散会 1 福祉の職場で働く心構え ~コミュニケーションのキホンの“キ”

分散会 2 「けんり」を大切にする支援 ~みんなの意思は何だろう?~

分散会 3 障がいの基本情報 ~知っておきたい社会の仕組みと障がい

への捉え方~

対象者：①諏訪圏域の障がい福祉関係事業所(入所・通所・利用は問わず)または障がい福祉行政で働くおおむね3年未満の職員。なお、行政関係で初めて障がい福祉関係課に配属された方は所属年数に限りません。

②昨年または一昨年の当新任職員研修に参加された方。

ただし定員を超えた場合は、初参加の方（①の方）を優先させていただきます。

参加人数：おおむね 30 人程度

参加費：500 円（当日受付にてお支払いください。）

申込み・問合せ：申込み締切 1 月 25 日（金）までに参加申込書と事前課題（自己紹介シート）を提出してください。

分散会参加の割り振りがある為、参加申込書はできるだけ早めに提出してください。自己紹介シートと別々の提出でもかまいません。

また、一つの事業所から複数人参加する場合は、それぞれで参加申込書・自己紹介シートの提出をお願いします。自己紹介シートは研修資料としてそのまま印刷し事前に配布します。自己紹介シート様式のデータファイルが欲しい方は下記メールまでお問合せください。なお、この資料は参加者と当日スタッフにのみ配布するものです。

諏訪圏域障がい者総合支援センター オアシス 担当：武井

Tel 0266-54-7713 Fax 0266-54-7723 E-mail info@suwa-oasis.jp

♣ 第 10 回療育支援フォーラム・平成 30 年度第 2 回発達障がい診療諏訪地域連絡会 信濃医療福祉センターの療育って 何をやっているの？

第 10 回療育支援フォーラム・平成 30 年度第 2 回発達障がい診療諏訪地域連絡会
信濃医療福祉センターの療育って 何をやっているの？
～療育から得られる知識やヒントを地域でどう生かすか～
療育が何になるか子どもへの発達支援の現状と今後の展望がテーマであり、その中でも発達障がいに対する療育は、連携を行うことで大きな変化の一つであります。
そこで、信濃医療福祉センターで行っている療育について、改めて地域の声に届けていただくと共に、ご自身の療育から得られる知識やヒントを、聴取の中でどのように生かしていくべきか、質疑応答を行います。
開催日 2019 年 1 月 26 日（土） 会場 ゆいわーく茅野
13 時 30 分～ 16 時 30 分（開場 13 時）（茅野市塚原二丁目 5 番 45 号）
第一部 リレートーク
「信濃医療福祉センターの療育って、何をやっているの？」
信濃医療福祉センターの療育の流れ、金子和可子氏（診療部長・小児科医師）
作業療法はあそびりてーしょん
センターでの心の役割、松林史子氏（臨床心理士）
座談会
「療育から得られる知識やヒントを地域でどう生かすか」
登壇者 茅野進氏（諏訪圏域発達障がいサポート・マネージャー）
金子和可子氏（信濃医療福祉センター診療部長、小児科医師）
工藤哲也氏（信濃医療福祉センター保育所等訪問指導事業所：訪問支援員）
アドバイザー 飯沼祥彦氏（長野県次世代サポート課 青少年指導主事）
参加費 無料（申込先着 100 名様）
申込み 諏訪圏域障がい者総合支援センター事務局（〒368-8501 茅野市塚原二丁目 5 番 45 号）
TEL 0266-54-7713 FAX 0266-54-7723 E-mail info@suwa-oasis.jp

1 月 26 日（土） 13：30～16：30（開場 13 時）

会場： ゆいわーく茅野 茅野市ひと・まちプラザ内
（茅野市塚原二丁目 5 番 45 号）

内容：第一部 リレートーク

「信濃医療福祉センターの療育って、何をやっているの？」

- ・信濃医療福祉センターの療育の流れ
金子 和可子氏（診療部長・小児科医師）
- ・作業療法はあそびりてーしょん
滝脇 裕美氏（作業療法士）
- ・センターでの心理の役割
松林 史子氏（臨床心理士）

第二部 座談会

「療育から得られる知識やヒントを地域でどう生かすか」

登壇者 茅野 進氏（諏訪圏域発達障がいサポート・マネージャー）

金子 和可子氏（信濃医療福祉センター診療部長、小児科医師）

工藤 哲也氏（信濃医療福祉センター保育所等訪問指導事業所：

訪問支援員）

アドバイザー 飯沼 祥彦氏（長野県次世代サポート課 青少年指導主事）

参加費：無料（申込先着 100 名様）

申込み：別紙申込書に必要事項を記載の上、1 月 18 日（金）までにお申込みください。

申込み先・問合せ：

信濃医療福祉センター医療相談室 担当：長谷川（下諏訪町社花田 6525-1）

Tel・Fax 0266(27)3227 E-mail noboru@shinano-iryo.or.jp

♣ 平成30年度 サンスポートまつもと『サンまつスポーツくらぶ in すわ』開催

個人でスポーツの練習がしたい方、一緒にスポーツを行う相手を探している方、等々、気軽にスポーツや運動ができるスペースとして体育館を開放しています。会場にはスタッフが常駐しみなさんと一緒にスポーツを行います。

開催日時・会場： 【時間】13:00~15:30 【曜日】土曜日または日曜日

2月16日(土) 諏訪市 豊田小学校体育館 諏訪市豊田小川 2399

3月 2日(土) 諏訪市 高島小学校体育館 諏訪市諏訪 2丁目 13-1

*開催会場・日時は変更される場合がありますので、必ず日程をご確認の上、会場までお越しください。(決まり次第、サンスポのホームページ上に記載いたします。)

対象者：障がいのある方および介助者、関係者

参加費：無料

実施可能なスポーツ：

卓球、バドミントン、バスケットボール、ボッチャなどの屋内スポーツ、ボールやフープなどの用具や遊具を使った遊びや運動。また、リズム体操やフロアホッケー、フライングディスク、サッカーなどのスポーツ体験も随時企画していきます。

参加方法：事前もしくは初回に、クラブ参加用紙と健康チェック表、誓約書を記入し、サンスポートまつもとへ提出してください。

(初回の参加時に職員が健康チェック票の確認をします。)

問合せ：障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」

Tel 0263-88-6826 Fax 0263-88-6836 担当 柴山・山下



♣ 第19回 サンアップル水泳大会

日頃の練習成果を発揮する場を提供するとともに、県外選手と競技することにより県内選手の競技力向上と選手相互の交流の場とする。

3月10日(日) 9:00 ~

会場：長野県障がい者福祉センター「サンアップル」 プール(長野市下駒沢 586)

参加資格：①肢体不自由、聴覚、視覚、精神、知的障がいのある小学生以上の者

(障害者手帳保持者)

※各種目 10分以内で泳げる者

※25m完泳できる者で健康上競技が可能な者。ただし、「チャレンジクラス」に申し込む者は、その限りではない。

※長野県内及び近隣8県(新潟、群馬、富山、埼玉、静岡、愛知、山梨、岐阜県)在住の者

②個人種目は、1人2種目以内とする。

③リレーは、1団体につきフリーリレー3チーム、メドレーリレー3チームまで出場できる。

参加費：500円 (メダル、賞状、保険代)

募集期間：1月4日(金)~ 2月14日(木)

申込み・問合せ：長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

Tel 026-295-3442（スポーツ課）

Fax 026-295-3511

♣ 平成30年度精神障がい者就労支援研修会

精神障がい者が地域で自立した生活を送るためにも就労は重要であり、雇用側及び医療や福祉関係者にとって、精神障がい者が実際に就職し職場に定着できるよう支援を展開することが重要な課題になっています。

官公庁における精神障がい者の就労支援は民間企業とは異なる課題を抱えています。その現状を知り今後の就労支援の推進につなげることを目的に、研修会を開催します。

2月26日（火） 13:30 ~ 15:30（13:00 ~ 受付開始）

場 所：長野県社会福祉総合センター 3階 講堂

内 容：講演会 「精神障害者の雇用と定着の推進 ー現状と課題ー」

講師 東京通信大学人間福祉学部 教授 松為信雄 先生

（神奈川県立保健福祉大学 名誉教授）

参集範囲：精神科医療機関、障害者就業・生活支援センター、障がい者総合支援センター、生活就労支援センター、若年者就業サポートセンター、就労移行支援事業所、職業安定所、障害者職業センター、市町村、保健福祉事務所の職員 等

申込み：2月15日（金）までに、別紙申込書を長野県精神保健福祉センターあて送付してください。Fax 又は Eメール

Fax 026-227-1170 E-mail withyou-r@pref.nagano.lg.jp

問合せ：長野県精神保健福祉センター 担当：藤澤（長野市若里 7-1-7）

Tel 026-227-1810 Fax 026-227-1170

♣ 平成30年度高次脳機能障害研修会（東信地域）

今回は高次脳機能障害の方の就労支援の実際、就労促進のための取り組みに焦点を当て長野障害者職業センター所長の羽原氏に講演を依頼しました。ご本人の工夫、周囲のサポート体制を学び、両側面から「はたらく」を考える会です。

1月26日（土） 13:30 ~ 15:30（13:00 ~ 受付開始）

会 場：佐久平交流センター 第5会議室（佐久市佐久平駅南 4-1）

内 容：講演会 「はたらくを考える」

講師 長野障害者職業センター所長 羽原洋陽 氏

定 員：150名

参加費：無料

申込み・問合せ：長野県健康福祉部 障がい者支援課管理係

Tel 026-235-7103 Fax 026-234-2369

※中信地域での研修会は検討中。

♣ ガレージとーく うつ病で、語る、つながるミーティング

『ガレージとーく』は、うつ病の当事者や家族を対象としたピアサポートの場です。

ミーティングでは当事者同士が集まって悩んでいること苦しんでいること、思っていることなどを話します。



周りの人にはなかなか理解してもらえない「生きづらさ」や「心のモヤモヤ」を共有し支え合うことで繋がりや癒しを感じてみませんか？

1月20日（日） 13：30～16：30

会 場：塩尻市市民交流センターえんぱーく 2F 会議室 204

参加対象：診断や疾患に関わらず、うつ症状のある方。

ご家族、支援者の方も参加可能です。

事前にご相談ください。

定 員：7名（申込み先着順で定員になり次第締め切ります。）

参加費：500円（会場費・運営費として）

申込み・問合せ：任意団体うつリカバリーエンジン 代表 長谷川

Tel 090-4823-7494 メール garagetalk@u2recovery.org

■リレーすいそう 第67回

【茅野市役所 上田拓也 さん】

あけましておめでとうございます！

茅野市 地域福祉課 障害福祉係の上田です。ベテランの方々からのバトンを受け取ったのが私のような若輩者で大変恐縮ですが、筆を執らせていただきます。

新年一発目だし何か景気の良い話題を！と思いましたが、5月に元号が切り替わるということで、平成という一時代を自分自身と重ねて振り返ってみようと思います。

まず平成初期ですが……バブル期とも言われますね。私自身はよく覚えていないのですが、諸先輩方からお聞きするに、かなり景気の良い時代だったのではないかと思います。

やがてバブルが崩壊し、高度経済成長期とは対照的に「デフレスパイラル」という言葉も一般へ浸透するような経済低迷期に突入していきました。しかしながら、世の流れは割とおおらかで、学校から家に帰った後、校庭でソフトボールをしていても誰も何も言いませんし、今思うと制約の少ない時代だったのかなと思います。

そして平成12年（2000年）を迎え、介護保険制度が始まりました。（急に仕事の話ですいません！）一方で障害者福祉では、平成15年に措置制度が支援費制度へと変わり、障害者支援施策も大きく舵を転換し、平成17年には障害者自立支援法が公布されました。その頃の私は、高校の弓道部の活動と勉強に明け暮れる日々を過ごしておりました。

そこからさらに時は流れ、様々な議論を重ねながら色々な制度改正が進んでいきました。一方の私はというと、大学の経済学部で企業への融資形態について学んでおりました（今の仕事とは全然関係ないですが……）。

そして、平成24年には障害者総合支援法が公布され、平成25年より現在の制度へと続いているところです。私はというと、市役所へ入庁したばかりで、収納課の滞納整理員として税金未納者からの徴収事務を行っておりました。今とは様々な面で真逆の仕事でしたが、法に則って適正な仕事をする事の大切さを学ばせていただきました。

平成26年10月より、現在の職場に配属となり、障害者福祉の仕事に携わっております。皆様にはいつも大変お世話になっております。ありがとうございます。

さて、ここまでざっと振り返ってみたのですが……色々ありましたね。きっと、皆様もこの30年間に様々なことがあったことだろうと想像いたします。

「平成」という言葉は、「内外、天地ともに平和が達成される」という意味だそうですが、改めて今の世界情勢を考えると、国内外で平和が達成された、とは言い切れない部分が多々あるかと思えます。

ですが、共生社会がより一層進んだその先に平和が達成されるのだとすると、平成という時代は、その礎となる時代だったのではないかなと個人的に考えております。障害者福祉に係る日頃の私たちの仕事は、その一端を担う誇り高いものなのだと思います。

まとまりのない話でしたが、今年も一所懸命に仕事に取り組んでいただいている関係機関の皆様とスクラムを組んで、良い仕事ができるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(今回は、岡谷市役所 社会福祉課 増澤さんにバトンをお渡しします。

よろしく申し上げます。)

■1月の日程（自立支援協議会、オアシス）

- 1月 8日（火） 9：30～ 地域生活支援拠点事業検討会
- 9日（水） 10：00～ 運営委員会
- 18日（金） 11：00～ 相談支援部会 人材育成 WG
- 22日（火） 15：00～ 医療的ケア部会
- 23日（水） 9：30～ フォーラム実行委員会
- 28日（月） 13：30～ 発達障がいデイケア

■オアシスたいむ 60 『クリスマス会』

2月15日にオアシス クリスマス会（富士見町・原村交流事業）を原村地域福祉センターで行いました。ロールケーキでサンタとトナカイのケーキを作り、じゃんけん大会ではプレゼントを選んだり、ゆったりした楽しい時間を過ごしました。



みんなで作ったケーキは苺の帽子のサンタと、真っ赤なサクランボのお鼻とチョコの角のトナカイです。簡単なのにそれぞれ個性的なサンタとトナカイが出来上がりました。

富士見・原村の担当職員さんにもしっかり盛り上げて頂きました。

今年はとても暖かくて、ホワイトクリスマスにはなりませんでしたが、とても心温まる一日でした。